



バーベナ(美女桜) 花言葉：後悔

四万十川ニュース Vol.109

中村河川国道事務所 平成28年7月26日

夏の「ツルの自然体験学習会」

子ども達に次世代のツルの守り手となってもらうことを願って、6月15日(水)に恒例の学習会を開催しました(主催：四万十川の里づくりの会)。この日は、東中筋中学校の1年生と東中筋小学校の6年生あわせて24名が参加しました。

はじめに東中筋中学校で行った室内学習(ツルの講座)では、ツルの渡来状況やつるの会の活動紹介だけでなく、過去の学習会で子ども達から出された質問を例に、ナベツル、マナツルの生態などについて説明しました。

その後、国土交通省が「四万十川自然再生事業(ツルの里づくり)」で中筋川中山箇所を整備した湿地に移動し、秋にツルの餌とするための稲の苗植え(田植え)を行いました。「田植え経験あり!」と軽快に植えていく子もいれば、恐る恐る湿地に足を踏み入れ、歩くのもおぼつかない子もいましたが、会員の手ほどきを受けて徐々に腕を上げ、ひたすら植え進むこと30分。湿地一面に苗が並び、えさ場づくりは無事完了しました。



ツルの講座

Q:ツルは1日どのくらいの餌を食べるの?
A:約200g。早朝におぐらを飛び立ち夕方まで一日中餌を食べています。

Q:ツルはどのくらいの早さで飛ぶの?
A:時速40kmくらい。風に乗れば時速60kmくらい。人間にとっては遠い四万十市と愛媛県西予市の間をあっという間に行き来します。



田植えの様子

子ども達による水生生物調査



水生生物採集状況



観察状況

7月7日(木)に四万十川と後川で、地元小学校の児童約50人に参加していただき水生生物調査を行いました。この調査は、川に生息している水生生物を調べることにより、川の水のきれいさを知り、水をきれいにするの大切さや水に親しんでいただくため、河川愛護月間(7月1日~31日)にあわせて行っています。

児童たちは網とバケツをもって川の中に入り、川底の石についた水生生物や魚などを一生懸命捕まえています。調査の結果、四万十川と後川ともに「きれいな水」に評価されました。

親子水難事故防止教室

7月24日(日)、四万十市百笑(どうめき)で親子水難事故防止教室を実施し、親子合わせて27名の参加がありました。

子ども達には、川で遊ぶ楽しさを体験してもらいながら、川の特性や危険を察知する能力、感覚を身につけてもらうことを目的に、川で流された時の対応方法や着衣水泳、カヌーやシュノーケリング教室などといった、川で遊ぶ「楽しさ」と「怖さ」を体験してもらいました。

また、四万十消防署によるAED実演や中村警察署による、川に流された人を助ける発射銃、救命用ロープの実演を行ってもらいました。

今後ともこういった機会を通じ、一般の方に川とのつきあい方を知ってもらい、川の事故を減らすとともに川に親しみをもってもらうよう努めていきます。



シュノーケリング教室



中村警察署による発射銃の実演

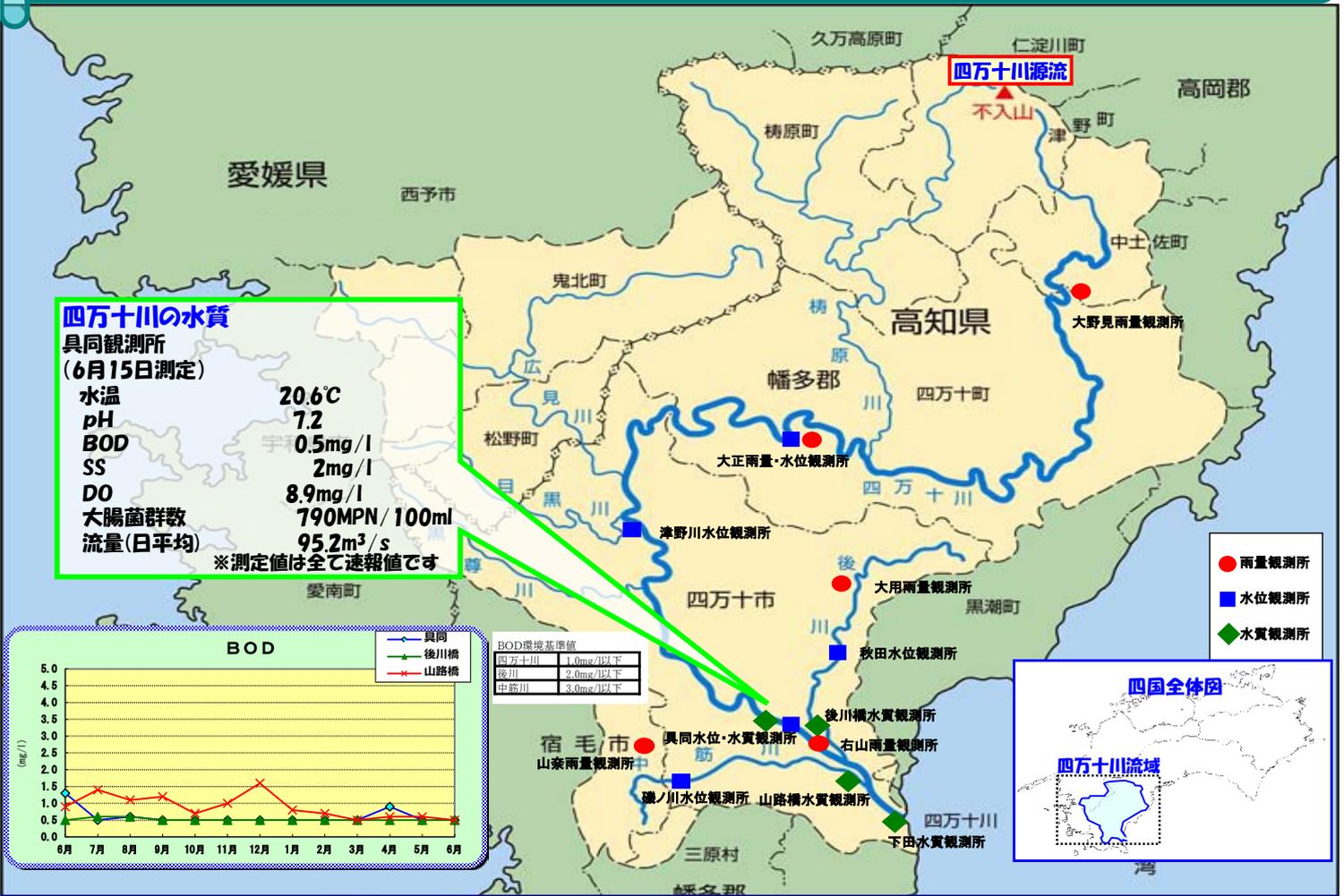
四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは中村河川国道事務所 計画課までお願いします。

TEL0880-34-7301

「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPにも掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

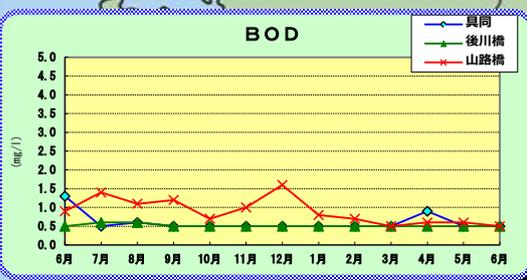
6月の四万十川の様子



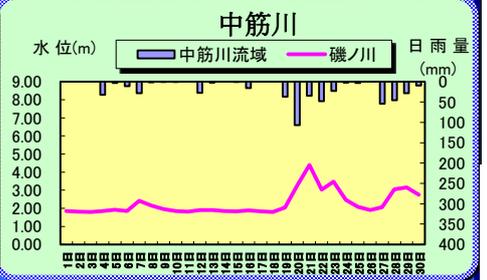
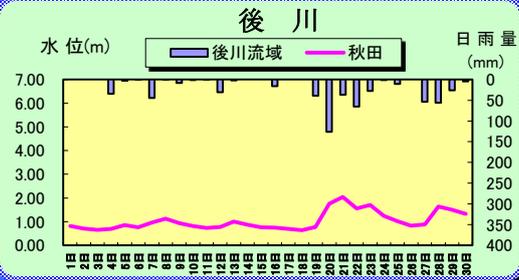
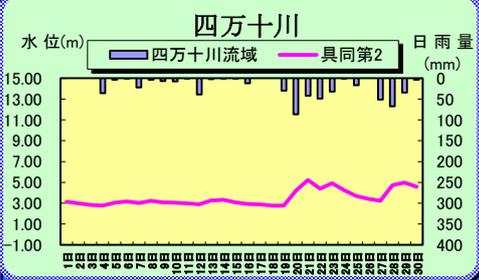
四万十川の水質
具同観測所
(6月15日測定)

水温 20.6℃
pH 7.2
BOD 0.5mg/l
SS 2mg/l
DO 8.9mg/l
大腸菌群数 790MPN/100ml
流量(日平均) 95.2m³/s

※測定値は全て速報値です



雨量・水位データ



6月の四万十川流域平均雨量550mmは平年の約1.4倍程度の雨量です。
なお、過去10年間の平均雨量は406mmです。
※四万十川流域平均雨量について、四万十川流域の雨量観測所(18箇所)が流域に占める支配面積の比率により算出した雨量です。
※測定値は全て速報値です。

四万十川の水位・雨量について

- ・水位・雨量情報電話サービス (0880-34-7321:3回線)
- ・PCサイト「川の防災情報」 <http://www.river.go.jp/>
- ・携帯サイト「川の防災情報」 <http://i.river.go.jp>

